

# 遠赤外線ヒーター

## ●基本構成

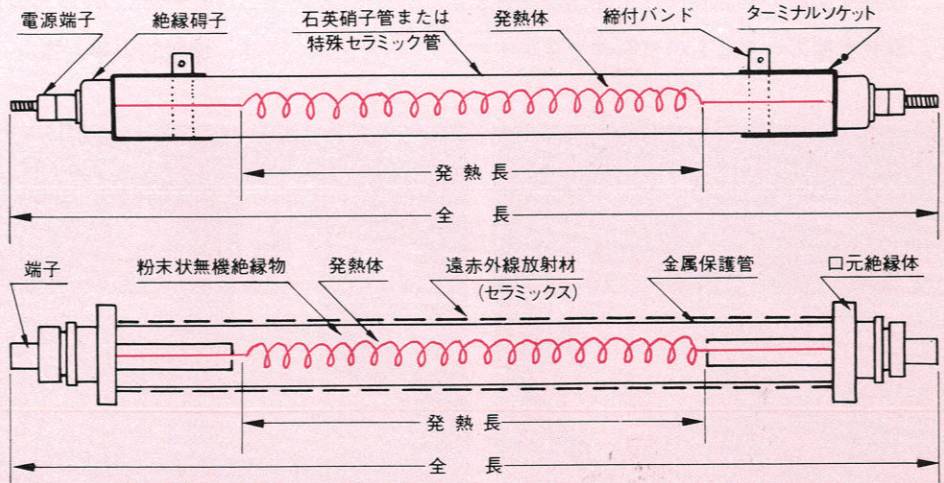
### A. 石英管式

### B. セラミック管式

### C. シーズヒーター式

シーズヒーターの表面に放射性材料として特殊セラミックスの放射層が形成されています。

加熱方式には、①伝導、②対流、③放射の3種類に大別されますが、遠赤外線ヒーターは③の放射方式を利用するもので太陽熱と同じく中間の媒体を加熱する必要がなく大変効果的です。



一般に知られている赤外線（電磁波の一種）の中で（約 2.5 ミクロン～25ミクロン）の領域を通常遠赤外線と呼ばれています。

## ●用途

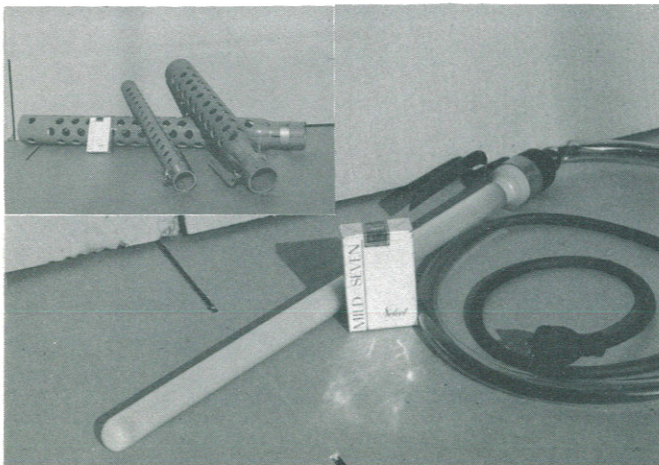
金属加工（エナメル焼付など）、合成樹脂（プラスチック仕上成型）、繊維（捺染織物の乾燥）、食品・油加熱（パン、ケーキクラッカーの焼上）、食品機械、印刷（印刷インク乾燥）、硝

子（塀の塗料文字図案の乾燥）、木工（ベニヤ板乾燥）、ゴム（ゴム製造の予熱）、ナイロン布加熱。反射笠（ステンレスまたはアルミ製）の利用も可能です。

# 耐酸用投込ヒーター [石英硝子製]

## ●用途と形状

酸性液体加熱用として広く利用され、鍍金業界でもメッキ槽の加熱保温などに好評であります。直棒 I 型のほか L 型もあり、塩ビ製保護管も用意されています。



I 型標準品寸法

電圧 V	相数 P	容量 KW	全長 mm	首下 mm	発熱長 mm	ヒーター 外径mm
200	3	5	1,050	960	760	35
200	3	3	750	660	500	33
200	3	2	750	660	400	33
200	3	1.5	550	460	280	33
200	3	1.0	550	460	280	33
200	2	3	750	660	480	33
200	2	2	750	660	480	33
200	2	1	545	470	300	23

※100V用もあります。